



ひかりのこつうしん

No.4

「ひかりの子幼稚園で育つもの」

ひかりの子幼稚園

2022年7月

とんでもない暑さが急にやってきた6月後半、熱中症に気をつけながらクラスでは興味関心を広げ、遊びの中で心と身体を思いっきり開放し、夏ならではの遊びを体験した7月でした。
ほんの一部ですが各クラスの活動をご紹介します！

「雨でもお外で遊んでみたい！」とレインコート作り



グリセリンや砂糖を配合したジャンボン玉作り



絵の具の感触を楽しむボディペインティング



大きなシャボン玉できたあ！



カブト虫の飼育



夜、園で羽化した様子を録画して鑑賞会



汚れたってへっちゃらだ！



各クラス幼稚園でできる楽しいことを心ゆくまで遊びこみました。各クラスの活動の様子は HP やインスタからご覧いただけます。どうぞご覧ください！

先日行われた兵庫教育大学の鈴木正敏先生の「教育講演会」で「ひかりの子幼稚園で育つもの」というお話をくださいました。

「ひかりの子幼稚園で育つもの」～非認知能力～

- ・好奇心/何でもやってみようと思うこと
- ・思いやり/相手を思って願うこと
- ・粘り強さ/みんなで相談して何かをやり遂げること
- ・協調性/クラスや学年を超えてお世話したり楽しんだりすること



ひかりの子幼稚園の日々の様々な活動の中で、子どもたちにこれらの非認知能力が育まれていることがうかがえること、その中でも「実行機能」という能力が大切だということをお話して下さいました。

「実行機能」とは目標を達成するために自分の行いを抑えたり、優先順位をつけたり、頭を切り替えたりする能力のことだそうです。

「こんなことをやりたい！」と話し合いを進める中で、準備や予算、日程調整、「やりたくない人の気持ち」様々な問題が出てきます。

一見問題がなく事が運ぶのは楽でいいように思いがちですが、様々な障壁が現れることは、すんなりと事が運ぶよりいいことなのだそうです。

その中で自分たちでできることとできないことをより分け、実行していくために折り合いをつけていく能力が育まれることが、成長の上でとても大切だということでした。

実行機能は3歳から5歳までの間に著しく発達し、中学生になると実行機能は一度停滞し、その後また伸びを見せていくそうです。

幼稚園での様々な活動が、これから時代を生きていく子どもたちの「生きる力」の土台となっていくことを私たちは信じています。

明日から長い夏休みに入ります。夏休み期間中、園庭改修工事などでご不便をおかけ致しますが、新しくなった園庭遊具や絵本のお部屋を楽しみにしていて下さいね。

1学期、様々な園からのお願いに快く反応して下さった保護者の皆さまのご協力、子どもや園を思うお気持ちに励まされ、勇気づけられた日々でした。職員一同心より感謝いたします。

包丁！慎重に



梅シロップ作り



梅ゼリー作るよ！



サワガニを川へ返す



水鉄砲！楽し～！

